

米価下落に対する支援策について

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大によって外食産業の低迷が長期化し、主食用米の需要が減少したことなどにより、J A概算金が前年と比較して大幅に下落した。市内の稲作農家の経営に与える影響は極めて大きく、本市の地域農業にとっても深刻な事態となっているため、米価下落に対する支援策について所管事務調査を実施した。

◎所管事務調査の内容

本市において主食用米は、価格が下落傾向にある中でも、生産数量目標を超過して作付されている状況が続いている。この状況に対して直接的な減収分の補てんは、生産数量の増加を助長する懸念があるため、米の需給環境の改善に対しては逆効果になる可能性もある。

このため、担当課においては、次期作に向けた種苗や土壌改良剤の購入支援のほか、収入保険への加入促進、作目転換への支援を検



討しており、支援策をできるだけ早く示したいとのことであった。さらに、昨冬の豪雪による果樹の枝折れや農業用施設の被害からも完全な回復には至っておらず、燃料や生産資材の価格高騰なども相まって、市内の農家を取り巻く環境は、これまでになく厳しい状況である。

このことから、これらの状況に対して実効性のある支援策を早期に実現できるようお願いし、米価下落に対する支援策についての所管事務調査を終えた。

「米価下落などの影響を受けた市内農家への支援策を求める要望書」の提出について

米価の大幅な下落が、営農継続意欲の減退や担い手の減少にとどまらず、農業が基幹産業である本市においては、コロナ禍で疲弊している地域経済をさらに停滞させる恐れもあることから、所管事務調査の内容を踏まえて地域農業の安定的な経営に向け、次の3項目について、1月5日(水)に市長へ要望書を提出しました。

要望事項

- ① 米価下落の影響を受けている稲作農家への作付面積に応じた緊急的な支援策と農業経営の安定化のための支援策を早期に講じること。
- ② 燃料や生産資材の価格高騰などに対する支援策を早急に講じること。
- ③ 昨冬の豪雪被害による農業経営への影響に対しては、状況を的確に把握し、経営基盤の維持・強化に向けて継続的な支援策を講じること。



△ 市長要望